

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会に適用する規則は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定である。

## 2 練習について

- (1) 練習は補助競技場（サトラック）を使用すること。但し、投てき練習は一切禁止する。  
フィールド種目の練習は、招集完了後競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) 本競技場内での朝の練習時間は、開門～放送等で指示された時間までとする。

## 3 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンド南側サブトラックへの通路に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前

### (3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者系の点呼を受け、その際ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクの点検を受ける。（腰ナンバーカードは各校で用意する。  
なお1500m以上の種目及び競歩種目は招集の時に競技者係から配られる。）
  - ② 最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の点呼の際に競技者係に申し出る。その場合に限り、代理人の最終点呼を認める。
  - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
  - ④ オーダー用紙は競技者係に提出する。（第1組目の招集完了時刻の1時間前までに）
- 4 ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。（跳躍種目は胸部・背部のいずれかでもよい）腰ナンバーは定められたレーンの番号布を右腰やや後部に付けること。

## 5 競技について

- (1) レーン、試技はプログラムの記載の番号順とする。
- (2) スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートした者（チーム）は失格とする。
- (3) 競技運営の都合上、男女5000mWは35分で競技を打ち切る場合がある。
- (4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。  
(走高跳) 男子：1m50(練習)1m55-1m60-1m65…1m80 以降 3cmきざみ  
女子：1m20(練習)1m25-1m30-1m35…1m50 以降 3cmきざみ  
(棒高跳) 男子：2m50(練習)2m60-2m80-3m00…3m40 以降 10cmきざみ  
女子：1m90(練習)2m00-2m10-2m20-2m30 10cmきざみ

## 6 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール、やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは自己のポールを使用する。
- (3) やりは検査をうけて自己のやりを使用する。検査は競技場南器具庫前で競技開始1時間前から10分間おこなう。

## 7 その他

- (1) 投てき練習は、審判員の指示により競技場内でおこなうこと。
- (2) 貴重品は各校各自で管理し、盗難には十分に注意すること。
- (3) 各学校の使用した場所は清掃に努め、ゴミは燃えるゴミと資源ゴミ（ビン・缶・ペットボトル）に分けて集め、ゴミを残さないようにすること。